

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24180報)

2022年11月8日14時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [11月8日11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等 分析結果 [採取日 11月7日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 11月7日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 11月7日]</li> <li>・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 10月21日~10月27日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 11月3日、11月7日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 10月24日、11月7日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクHの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、11月9日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 11月4日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年11月8日 11:00現在

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.3 ml/h CS系: 1.5 ml/h	給水系: 1.7 ml/h CS系: 0.0 ml/h	給水系: 0.0 ml/h CS系: 3.5 ml/h	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 23.5 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 22.4 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 23.0 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 32.7 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 34.5 °C	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 27.6 °C RPV底部上部温度 (TE-2-3-69H1): 27.2 °C	
原子炉格納容器内温度	FVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 23.0 °C FVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 22.9 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 33.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HM12-16B (TE-16-114G#1): 32.8 °C	PCV温度 (TE-16-002): 25.5 °C 格納容器空調供給空気温度 (TE-16-114F#1): 27.4 °C	
原子炉格納容器圧力	0.23 kPa.g	4.04 kPa.g	0.45 kPa.g	
空素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nit/h (RVH-B): 15.39 Nit/h (JP-A): 15.58 Nit/h (JP-B): - Nit/h PCV: - Nit/h ※4	RPV-A: 6.58 Nit/h RPV-B: 6.42 Nit/h PCV: - Nit/h ※4	RPV-A: 8.24 Nit/h RPV-B: 7.93 Nit/h PCV: - Nit/h ※4	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	268 ml/h	15.90 Nit/h	21.18 Nit/h	
原子炉格納容器水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol%	A系: 0.10 vol% B系: 0.09 vol%	
原子炉格納容器放射線強度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.07E-03 Bq/cm <sup>3</sup> 検出限界値 4.31E-04 Bq/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 1.57E-03 Bq/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.48E-04 Bq/cm <sup>3</sup>	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 Bq/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 Bq/cm <sup>3</sup>	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Bq/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Bq/cm <sup>3</sup>	
使用済燃料プール水温度	19.7 °C	- °C ※6	- °C ※5	
FPC 封入シヤク水水位	2.11 m	5.50 m	3.72 m	67.3 X100mm

※1: 原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。検出限界値は、測定精度により異なる。測定精度は、原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。

※2: 原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。検出限界値は、測定精度により異なる。測定精度は、原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。

※3: 原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。検出限界値は、測定精度により異なる。測定精度は、原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。

※4: 原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。検出限界値は、測定精度により異なる。測定精度は、原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。

※5: 原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。検出限界値は、測定精度により異なる。測定精度は、原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。

【留意事項】  
各計測部については、加振やその他の非線形現象の影響を受けて、通常0使用環境条件下で測定しているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状態を把握するため、このよう非線形現象の検出を留意し、必要に応じて、測定の信頼性が確保されるよう計測器の使用に留意して測定している。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/11/07 06:37	< 6.8E+00	< 5.9E+00	1.9E+02
2号機サブドレン	2022/11/07 06:44	< 1.4E+01	4.0E+01	1.7E+03
3号機サブドレン	2022/11/07 06:55	< 5.0E+00	< 5.2E+00	< 4.2E+00
4号機サブドレン	2022/11/07 07:00	< 4.6E+00	< 4.5E+00	< 5.3E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

## 集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/11/07 07:00	< 4.6E+00	< 4.5E+00	< 5.3E+00
プロセス主建屋北東	2022/11/07 07:33	< 4.8E+00	< 3.3E+00	< 4.5E+00
プロセス主建屋南東	2022/11/07 07:28	< 5.3E+00	< 2.8E+00	< 3.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/11/07 07:10	< 3.7E+00	< 4.2E+00	< 4.2E+00
サイトバンカ建屋南西	2022/11/07 07:23	< 4.1E+00	< 5.7E+00	< 5.0E+00
焼却工作建屋西側	2022/11/07 07:15	< 5.4E+00	< 4.3E+00	4.0E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/11/07 07:05	< 4.8E+00	< 3.7E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/11/07 07:20	< 4.2E+00	< 5.3E+00	< 3.9E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{±O}$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31、 $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1、 $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

### 構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/11/07 07:40	5.4E+00	< 7.0E-01	3.2E+00
物置場排水路	2022/11/07 07:48	< 2.9E+00	< 7.1E-01	1.1E+00
K排水路	2022/11/07 06:00	4.5E+00	< 3.7E-01	3.5E+00
BC排水路	2022/11/07 06:00	< 2.9E+00	< 6.4E-01	< 6.7E-01
D排水路	2022/11/07 07:44	< 2.9E+00	< 5.7E-01	< 4.6E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.O.E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m <sup>3</sup> /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/10/21 07:17	0.0	0.001	7.1E+00	—	< 7.0E-01	3.6E+00
	2022/10/22 08:00	0.0	0.001	5.6E+00	—	< 4.2E-01	2.4E+00
	2022/10/23 07:13	0.0	0.001	3.3E+00	—	< 6.6E-01	2.2E+00
	2022/10/24 07:25	1.5	0.002	4.9E+00	—	< 4.5E-01	2.7E+00
	2022/10/25 07:35	2.0	0.001	4.9E+00	—	< 4.6E-01	2.0E+00
	2022/10/25 07:34	0.0	0.001	6.6E+00	< 7.5E+00	< 5.8E-01	2.2E+00
	2022/10/27 07:20	0.0	0.001	6.1E+00	—	< 7.6E-01	4.1E+00
物揚場排水路	2022/10/21 07:10	0.0	0.110	< 3.2E+00	—	< 5.9E-01	1.5E+00
	2022/10/22 07:50	0.0	0.006	< 2.7E+00	—	< 6.3E-01	1.5E+00
	2022/10/23 07:20	0.0	0.007	< 3.1E+00	—	< 3.9E-01	1.3E+00
	2022/10/24 07:35	1.5	0.006	3.1E+00	—	< 5.9E-01	1.8E+00
	2022/10/25 07:45	2.0	0.006	4.3E+00	—	< 5.9E-01	1.6E+00
	2022/10/26 07:25	0.0	0.006	< 3.1E+00	< 7.5E+00	< 3.6E-01	1.2E+00
	2022/10/27 07:25	0.0	0.007	< 3.1E+00	—	< 5.9E-01	9.6E-01
K排水路	2022/10/21 06:00	0.0	0.013	6.6E+00	—	< 6.0E-01	5.0E+00
	2022/10/22 06:00	0.0	0.013	7.7E+00	—	< 6.0E-01	4.5E+00
	2022/10/23 06:00	0.0	0.013	8.4E+00	—	< 6.7E-01	5.5E+00
	2022/10/24 06:00	1.5	0.013	8.4E+00	—	< 4.8E-01	4.4E+00
	2022/10/25 06:00	2.0	0.013	6.3E+00	—	< 7.0E-01	5.1E+00
	2022/10/26 06:00	0.0	0.013	5.9E+00	8.7E+01	< 6.8E-01	4.9E+00
	2022/10/27 06:00	0.0	0.012	4.9E+00	—	< 4.8E-01	3.9E+00
BC排水路	2022/10/21 06:00	0.0	0.015	< 3.2E+00	—	< 6.4E-01	< 6.2E-01
	2022/10/22 06:00	0.0	0.003	6.5E+00	—	< 7.3E-01	< 6.8E-01
	2022/10/23 06:00	0.0	0.003	2.6E+01	—	< 3.1E-01	< 5.3E-01
	2022/10/24 06:00	1.5	0.006	1.1E+01	—	< 6.8E-01	< 5.8E-01
	2022/10/25 06:00	2.0	0.002	1.3E+01	—	< 7.0E-01	< 7.2E-01
	2022/10/26 06:00	0.0	0.002	7.2E+00	3.2E+01	< 5.4E-01	< 6.8E-01
	2022/10/27 06:00	0.0	0.001	6.1E+00	—	< 6.0E-01	7.5E-01
D排水路	2022/10/21 07:14	0.0	0.002	< 3.2E+00	—	< 5.6E-01	7.1E-01
	2022/10/22 07:55	0.0	0.013	< 2.7E+00	—	< 4.9E-01	< 5.6E-01
	2022/10/23 07:15	0.0	0.015	< 3.1E+00	—	< 4.9E-01	< 6.6E-01
	2022/10/24 07:30	1.5	0.018	< 2.7E+00	—	< 4.3E-01	< 5.6E-01
	2022/10/25 07:40	2.0	0.013	< 3.1E+00	—	< 6.0E-01	< 7.3E-01
	2022/10/26 07:30	0.0	0.016	< 3.1E+00	< 7.5E+00	< 6.1E-01	< 6.0E-01
	2022/10/27 07:30	0.0	0.013	< 3.1E+00	—	< 7.0E-01	< 5.6E-01
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不符号 (<)：小なりは、検出限界未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。
- ・流量以外は既にお知らせ済み。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β、H-3、Y、塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)		
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)	
No.0-1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/11/03 06:57	3.4E+01	1.1E+04	< 2.6E-01	< 2.8E-01	< 3.2E+09	< 1.3E+00	< 3.3E-01	1.5E+00	-	-
No.0-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 #1		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

検出限の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約33年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不等号 (<: 小む) は、検出限界未満 (ND) を表す。

測定対象外の項目は「-」と記す。

例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読み。

H-3以外の観測孔は測定されず、全βは参考値としての観測結果。

※1 No.1-9は、採取による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値としての観測結果。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	分析項目					Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)		
				元素の種類	単位	値	単位	値				
1,2号検査ポイント 汲み上げ水				全β								
No.2	2022/11/03 07:30	1.7E+02	2.4E+02	全β								
No.2-2	2022/11/03 07:20	2.5E+02	2.8E+02	全β								
No.2-3	2022/11/03 07:12	2.3E+04	2.1E+03	全β								
No.2-5 ※2				全β								
No.2-6				全β								
No.2-7				全β								
No.2-8	2022/11/03 07:35	4.3E+03	4.9E+02	全β								
2,3号検査ポイント 汲み上げ水				全β								
No.3	2022/11/03 07:40	1.6E+02	2.2E+03	全β								
No.3-2	2022/11/03 07:28	5.7E+02	7.0E+02	全β								
No.3-3	2022/11/03 07:24	1.4E+03	1.8E+03	全β								
No.3-4	2022/11/03 07:44	1.9E+01	4.5E+02	全β								
No.3-5 ※2	2022/11/03 07:50	5.7E+01	< 1.1E+02	全β								
3,4号検査ポイント 汲み上げ水				全β								

・核種の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約83年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E.H.Oとは、 $0.0 \times 10^{-10}$  であることの意味する。

・(例)  $3.1E+01$  は  $3.1 \times 10^1$  で  $31$ 、 $3.1E+00$  は  $3.1 \times 10^0$  で  $3.1$ 、 $3.1E-01$  は  $0.31$  と読み取る。

・H-3以外は既に通知済み。

※2 No.2-5, No.3-5は、取水器による採取であるため、Y測定は実施せず、全βは参考値としての値に測定。



2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他観測項目					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	全γ			
No.0-1	2022/11/07 07:55	6.5E+01	< 1.2E+00	< 1.3E+00	< 1.2E+01	< 4.3E+00	< 1.6E+00	2.1E+01	—	
No.0-1-2	2022/11/07 08:00	< 1.2E+01	< 3.8E-01	< 4.3E-01	< 3.9E+00	< 1.2E+00	< 3.5E-01	2.9E+00	—	
No.0-2	2022/11/07 08:20	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 3.8E-01	< 3.3E+00	< 1.3E+00	< 3.4E-01	5.4E-01	—	
No.0-3-1	2022/11/07 08:05	1.3E+01	< 2.4E-01	< 2.7E-01	< 2.2E+00	< 8.4E-01	< 2.6E-01	7.1E-01	—	
No.0-3-2	2022/11/07 08:10	2.7E+01	< 2.9E-01	< 3.1E-01	< 2.6E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	1.1E+00	—	
No.0-4	2022/11/07 08:25	< 1.2E+01	< 3.2E-01	< 3.9E-01	< 3.0E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	9.6E-01	—	
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-9 ※1	2022/11/07 07:50	2.5E+01	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検測所の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約30年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不平等 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.E±0とは、 $0.0 \times 10^0$  であることを意味する。

(例) 3.1E+01は  $3.1 \times 10^1$  で31、3.4E+00は  $3.4 \times 10^0$  で3.4、3.1E-01は  $3.1 \times 10^{-1}$  で0.31と読み。

※1・No.1-9は、採水器による制限であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての値に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目						塩素 (ppm)	
		全β (Bq/L)	Min-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)
1,2号機ワエルポイント 汲み上げ水									
No.2	2022/11/07 07:35	1.8E+02	< 3.1E-01	< 3.7E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 3.5E-01	1.7E+00	
No.2-2	2022/11/07 07:10	1.8E+02	< 1.2E+00	< 1.3E+00	< 1.3E+01	< 6.0E+00	< 1.7E+00	9.1E+01	
No.2-3	2022/11/07 07:15	2.1E+04	< 2.4E-01	< 2.6E-01	< 2.6E+00	< 9.2E-01	< 3.1E-01	4.1E+00	
No.2-5 *2	2022/11/07 06:55	9.8E+05 *							
No.2-6									
No.2-7	2022/11/07 07:40	3.8E+02	< 2.7E-01	< 4.2E-01	< 2.6E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	2.8E+00	5.9E+02
No.2-8	2022/11/07 07:45	5.1E+03	< 2.8E-01	< 2.7E-01	< 3.3E+00	< 1.5E+00	7.4E-01	2.1E+01	
2,3号機改修ワエル 汲み上げ水									
No.3									
No.3-2									
No.3-3									
No.3-4									
No.3-5 *2									
3,4号機改修ワエル 汲み上げ水									

\* 検出限の半減期：Min-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約39年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

\* 不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

\* 測定対象外および検取中止の項目は「-」と記す。

\* O.OE+Oとは、 $0.0 \times 10^0$ であることを意味する。

[例] 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読み、

\*2 No.2-5、No.3-5は、採水器による検取であるため、検取には実効せず、全回は参考値としてご掲載に測定。

\* 過去観測値

[護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)] および 2020年8月31日現在公表資料

[福島第一港湾内 放水口付近 護岸の経緯分析結果 護岸地下水] で検取に示した値との比較

11/13

2022年11月8日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内,放水口付近&gt; (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/10/24 08:10	1.0E+01	< 3.2E-01	< 7.5E-01	< 8.5E-01
1F 6号機取水口前	2022/10/24 07:49	< 1.1E+01	< 2.2E+00	< 3.6E-01	< 3.5E-01
1F 物揚場前	2022/10/24 07:20	< 1.1E+01	< 1.8E+00	< 3.4E-01	< 3.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/10/24 07:15	< 1.1E+01	3.5E+00	< 2.7E-01	1.1E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/10/24 07:10	2.0E+01	5.1E+01	< 3.0E-01	4.1E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/10/24 08:36	1.1E+01	< 3.2E-01	< 7.3E-01	< 8.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/10/24 06:46	< 1.0E+01	6.3E-01	< 3.5E-01	< 2.9E-01
1F 港湾中央	2022/10/24 06:37	2.0E+01	2.1E+00	< 3.8E-01	1.1E+00
1F 港湾内東側	2022/10/24 06:40	< 1.3E+01	2.0E+00	< 2.5E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内西側	2022/10/24 06:35	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 2.7E-01	3.9E-01
1F 港湾内北側	2022/10/24 06:32	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 2.7E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内南側	2022/10/24 06:43	< 1.3E+01	< 1.7E+00	< 3.0E-01	< 3.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/10/24 07:01	< 1.3E+01	—	< 2.7E-01	< 3.6E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/10/24 07:07	< 1.3E+01	—	< 2.3E-01	< 2.9E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/10/24 07:59	< 1.3E+01	—	< 3.0E-01	< 3.6E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/10/24 07:52	1.3E+01	—	< 3.1E-01	< 2.6E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/10/24 07:46	1.7E+01	—	< 2.6E-01	< 3.4E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (&lt; ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/11/07 08:40	1.1E+01	< 7.6E-01	< 7.2E-01
1F 6号機取水口前	2022/11/07 08:20	< 1.3E+01	< 3.3E-01	< 3.4E-01
1F 物揚場前	2022/11/07 07:52	< 1.3E+01	< 2.4E-01	3.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/11/07 07:35	< 1.3E+01	< 3.6E-01	1.4E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2022/11/07 07:28	< 1.3E+01	< 3.2E-01	2.2E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/11/07 08:30	1.4E+01	< 7.1E-01	< 7.5E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/11/07 06:49	< 1.2E+01	< 3.1E-01	< 3.3E-01
1F 港湾中央	2022/11/07 06:40	1.4E+01	< 2.9E-01	4.0E-01
1F 港湾内東側	2022/11/07 06:43	1.6E+01	< 2.9E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/11/07 06:38	< 1.3E+01	< 3.1E-01	< 3.7E-01
1F 港湾内北側	2022/11/07 06:35	< 1.3E+01	< 2.4E-01	4.0E-01
1F 港湾内南側	2022/11/07 06:46	< 1.3E+01	< 3.5E-01	< 3.6E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/11/07 07:03	< 1.4E+01	< 3.2E-01	< 2.5E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/11/07 07:07	< 1.4E+01	< 3.4E-01	< 3.3E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/11/07 07:53	< 1.3E+01	< 2.3E-01	< 2.2E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/11/07 07:47	< 1.4E+01	< 3.1E-01	< 3.2E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/11/07 07:42	< 1.4E+01	< 2.8E-01	< 2.3E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年11月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目					その他 核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サブドレン)	H 2022/11/04 07:22	1,100	東京電力	< 2.0E+00	8.0E+02	< 5.7E-01	< 5.4E-01	< 5.4E-01	検出なし
			東北緑化環境保全 (株)	< 3.6E-01	8.4E+02	< 6.4E-01	< 6.1E-01	< 6.1E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	9.0E+01	
WHO飲料水水質ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防漏に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度 [本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24181報)

2022年11月8日16時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>10月31日、キャスク保管建屋北東(屋外)において、現場の事前確認作業に従事していた協力企業作業員が、作業終了後に、側溝を跨いだ際に段差部で足を踏み外して左足を負傷しました。</p> <p>入退城管理棟救急医療室にて、「左足関節痛(捻挫の疑い)」と診断されましたが、痛みが治まらなかったため、医療機関を受診し、「左踵骨骨折及び靭帯損傷」の疑いと診断され、ギプス処置となりました。</p> <p>後日、別の医療機関を受診し、CT撮影およびレントゲン撮影をしたところ、「左踵骨骨折」と診断され、今後の治療方針について医療機関と相談した結果、手術および入院をすることとなりました。</p> <p>負傷者については、今後、入院のため休業となることから、休業を要する災害となるため、お知らせするものです。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生時刻 10月31日 10時43分頃</li> <li>・発生場所 キャスク保管建屋北東(屋外)</li> <li>・負傷者の所属 協力企業作業員</li> <li>・身体汚染の有無 なし</li> </ul> <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24182報)

2022年11月8日16時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号; 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第24175報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 10時31分</li> <li>・排水終了 : 15時28分</li> <li>・排水量 : 738m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分: E】</p> <p>※添付の有リ <input checked="" type="radio"/> 無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。